



被災者と専門的支援をつなぐ

つなプロ

被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)

わたしたちは、被災地でのこれ以上の状況悪化者を出さないために、特別な配慮を必要とする方々のお困りごとを発見し、専門性を持つNPO、機関等からの支援とつなげます。



特別な配慮を必要とする方々とは妊産婦、乳幼児、子ども、要介護者、高齢者、外国人、障害のある方、アレルギー・難病患者、精神的なケアを必要とする方、女性、そのほか被災の影響で専門的な支援を必要としている方など等があげられます。

このような方々は通常の災害支援だけでは困りごとやニーズを解決することはできません。専門的知識と特別な配慮が必要です。つなプロは専門性を持つNPOや機関・企業等と連携し、特別なニーズを持つ少数の被災者へのピンポイントな専門的支援を行います。また、地域で長期的に支援していけるよう、被災地で専門的支援を行うNPOを支援し、ノウハウを提供するなど、支援のしくみを構築していきます。



つなプロは3月14日に発足し、5月1日までの間に、

378人のボランティアを宮城県に派遣し、

443カ所の避難所を訪問して、**505**件の困りごとを発見。

つなプロは、専門性を持つNPOとつないで避難者の困りごとを解決しています。

つなプロの 取り組み

CASE01



困りごと：精神障害の姉弟が通院できていないため、移送のボランティアが必要。



解決：移送ボランティアによって通院ができた。その後、精神障害者支援NPOを紹介。市の保健師を含めて継続的な支援体制を構築。



CASE02



困りごと：日本語がわからないので日中辞典が欲しい



解決：辞書や指さし会話帳を数種類本部で手配し、現地に持参。

CASE03



困りごと：卵アレルギーがひどいので、内容のわからないものを怖くて食べさせられない。



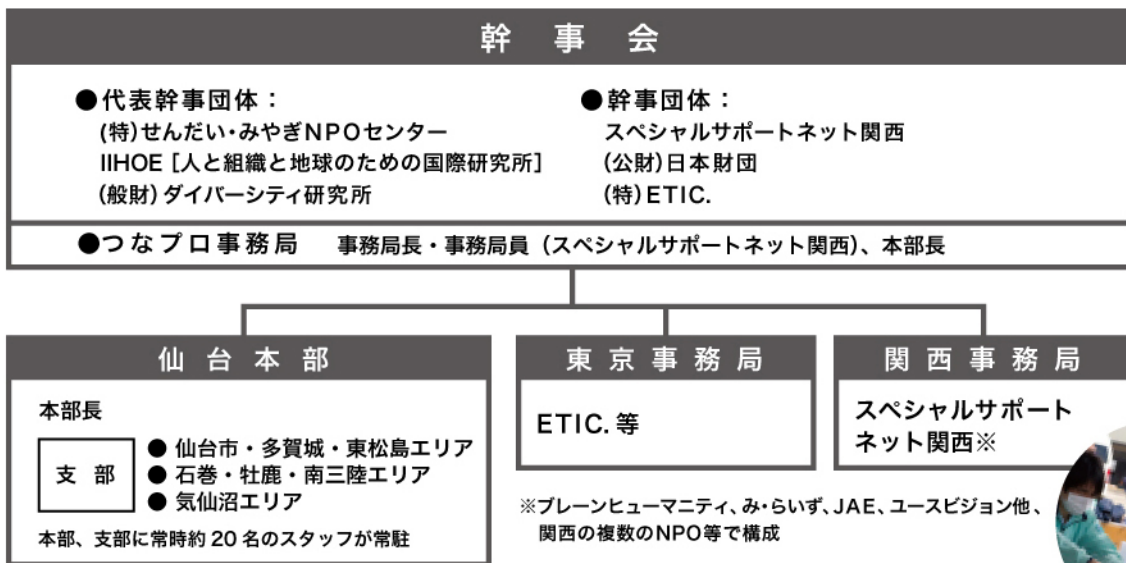
解決：アレルギー患者支援NPOを紹介し、アレルギー対応食品を届けた。また、市役所にアレルギー対応の物資があるという情報も提供。



- ▶ **目的(ミッション)** 避難所でのこれ以上の死者、状況悪化者を出さないために、様々な分野の専門性を持つNPOと被災地をつないで支える。
- ▶ **活動** 特別な困りごとを持つ少数の被災者のニーズを調査、把握し、多様な専門性を持つNPOや機関・企業等とつないで解決する。
- ▶ **基本3原則**
- ① 被災地・被災者が主役の復興を支え続けよう
 - ② 避難先の暮らしを少しでも心地よくできるよう、支えよう
 - ③ 緊急対応だけでなく、仕組みづくりを心がけよう

▶ **実施体制**

つなプロは、仙台、東京、関西の中間支援組織やNPOを中心に構成されており、各団体の強みを活かし、連携しあって支援活動をしています。被害の大きかった地域にエリアマネージャーを置き、情報を収集、そして仙台本部へ集約し、支援を実施しています。



あなたからの寄付金が個別ケアが必要な被災者の“いのち”を支えます。

京都地域創造基金によって設置されたつなプロ基金へのご寄付は被災者とNPOをつなげて支援するつなプロの活動資金になります。

- 銀行振込： 京都信用金庫 本店 普通 2047135 つなプロ基金
- 郵便振込： ゆうちょ銀行 00940-3-304687 つなプロ基金
- クレジットカード： HP から簡単に寄付できます。アドレスはこちら
http://www.plus-social.com/cn8/tsuna_pro.html

寄付金は、寄付金控除等の税制上の優遇措置の対象となります。



公益財団法人
京都地域創造基金
PLUS-SOCIAL

公益財団法人 京都地域創造基金は、2009年に300人を越える市民からの寄付で設立した市民財団です。市民・企業からの寄付を京都のNPO・市民活動に届けることで暮らしやすい豊かな地域社会づくりに取り組んでいます。



被災者と専門的支援をつなぐ
つなプロ

つなプロ事務局
TEL : 080-3303-3232 E-mail : tp.jimukyoku@gmail.com
<http://blog.canpan.info/tsunapro/>